



大分県はイクボスの普及啓発に取り組んでいます！ おおいたイクボス共同宣言

2017年に大分県知事、大分市長、経済5団体(大分県商工会議所連合会、大分県商工会連合会、大分県中小企業団体中央会、大分県経営者協会、大分県経済同友会)の代表、大分労働局長が「おおいたイクボス共同宣言」をしました。

イクボス度チェックリスト

下記の8つのチェックリストのうち、あなたのチェックの数は？
もしかすると、あなたも潜在的イクボスかもしれません。



部下の家族構成や
家族環境を知っている

社内の労働条件(育児・介護
休暇制度など)を理解している

部下が急に休んでも
慌てずに対処できる

部下と協力して
短時間で成果を出している

私は仕事もプライベートも
楽しんでいる

部下と仕事以外の話題で
話ができる

効率的な働き方を
いつも考えている

部下にも成長してもらいたい

✓ 8~7個の方

✓ 6~5個の方

✓ 4~3個の方

✓ 2~0個の方



大分県福祉保健部こども未来課
〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
Tel 097-506-2712

さあ、イクボスへ変身!!
イクボス宣言してみんなにアピールしよう!

監修 NPO法人ファザリング・ジャパン九州
九州イクボスプロジェクト

大分 イクボス

検索

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/12470/ikuboss.html>



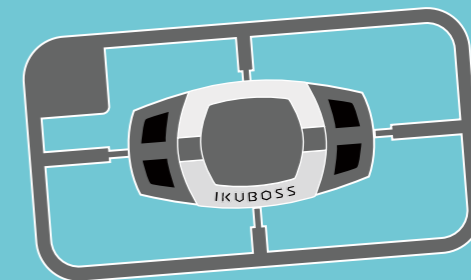
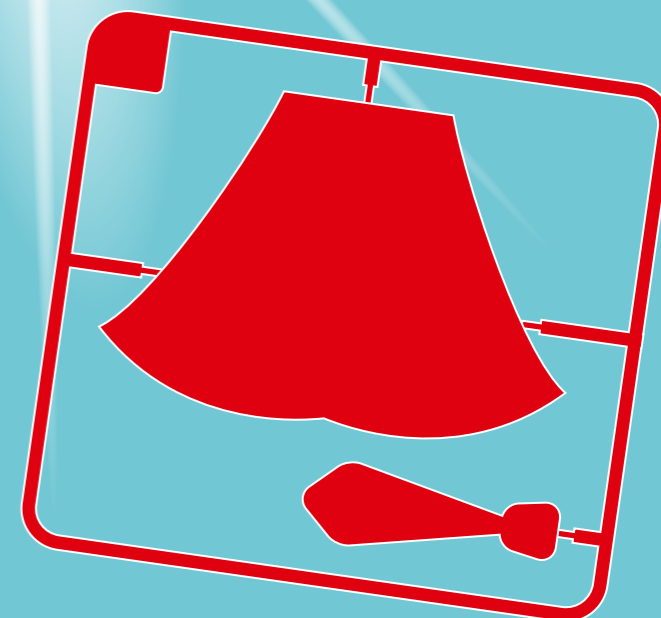
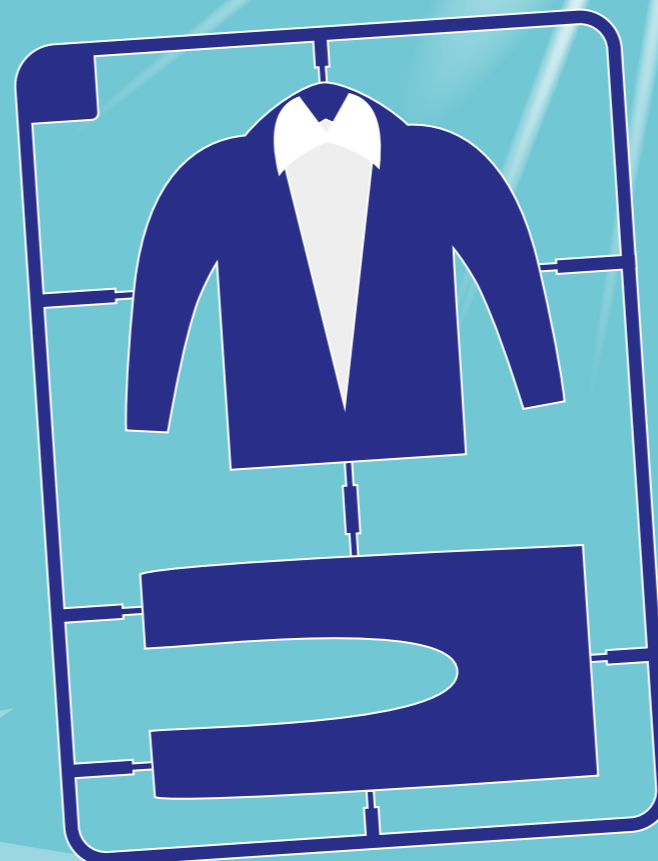
待ったなしの働き方改革! 「イクボス」が鍵となる。

イクボス変身ブック

会社が、社会が変わる!



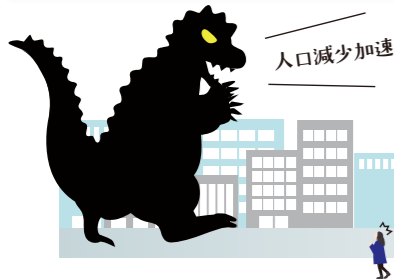
ボスが
変われば、



大分県

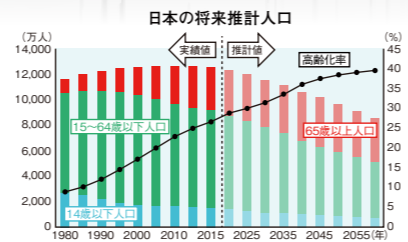
今、日本社会はかつてない暗い闇に覆われようとしている…

EPISODE.1 減り続ける、日本の労働力人口



人口減少加速

日本の人口は減少傾向にあり、さらには少子高齢化により、深刻な労働力人口の減少が心配されています。このままでは働き手がなくなってしまうでしょう。より多くの人が働き続けるためにはどうすればよいのでしょうか。真剣に考える必要があります。



(出典)「国勢調査」及び「日本の将来推計人口」

止まらない人口減、高齢化

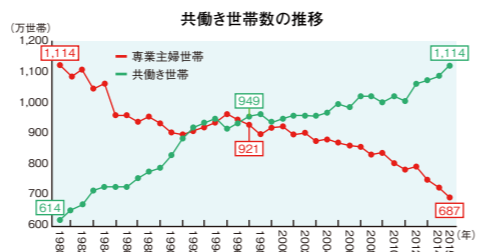
EPISODE.2 増える共働き世帯、このままの働き方では…



家事・育児

長時間労働

女性だけが家事・育児・介護などを一手に引き受ける時代は終わりました。共働き世帯は年々増加を続け、専業主婦世帯を大きく上回っています。夫婦で家事や育児を分担し、協力し合うためには長時間労働が前提の「働き方」の見直しが急がれています。



(出典)男女共同参画白書

共働き世帯が今や6割

EPISODE.3 これからの人材は「働きやすさ」を重視



働きにくい

就職先の条件として、給与や仕事内容よりワークライフバランス(WLB)を挙げる若者が増えています。優秀な人材の確保のためにも、働き方を変え、ワークライフバランスが整った労働環境づくりが重要です。そういった時代が訪れているのです。



(出典)スモール株式会社 調査結果

若者は「働きやすさ」で選ぶ

そんなピンチに立ち向かうヒーロー、それは…

EPISODE.X 「イクボス」が日本の社会を救う!

イクボスとは、部下や社会、そして組織を育(イク)てる上司(ボス)のことです。イクボスは、職場で共に働く部下やスタッフの“仕事と生活の両立(ワークライフバランス)”を考慮しつつ、その人のキャリアや人生を応援します。また、組織をチームとしてまとめ、業績や結果を出す一方、自らも仕事と私生活の両立を楽しむ、そんなボスです。社員が働き続けるためには、仕事と私生活が両立できる職場づくり、つまりはイクボスの存在が必要です。イクボスが日本のピンチを救うのです。一人でも多くの「イクボス」誕生が待ち望まれています。



働き方改革!

自ら楽しむ!

イクボス10ヶ条

この「10ヶ条」をマスターすればあなたもヒーロー「イクボス」になれる。さあ、今から始めよう!



01 理解
現代の子育て事情を理解し、部下がライフ(育児)に時間を割くことに、理解を示していること。

02 ダイバーシティ
ライフに時間を割いている部下を、差別(冷遇)せず、ダイバーシティな経営をしていること。

03 知識
ライフのための社内制度(育休制度など)や法律(労基法など)を知っていること。

04 組織浸透
管轄している組織(例えば部長なら部)全体に、ライフを軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めていること。

05 配慮
家族を伴う転勤や単身赴任など、部下のライフに「大きく」影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること。

06 業務
育休取得者などが出ても、組織内の業務が滞りなく進むために、組織内の情報共有作り、チームワークの醸成、モバイルやクラウド化など、可能な手段を講じていること。

07 時間捻出
部下がライフの時間を取りやすいよう、会議の削減、書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること。

08 提言
ボスから見た上司や人事部などに対し、部下のライフを重視した経営をするよう、提言していること。

09 有言実行
イクボスのいる組織や企業は、業績も向上するという事実を証明し、社会に広める努力をしていること。

10 腕より始めよ
ボス自ら、ワークライフバランスを重視し、人生を楽しんでいること。

(出典)NPO法人 ファザーリング・ジャパン

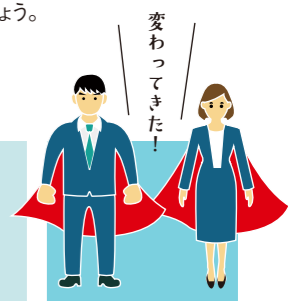
イクボスへの道

部下やスタッフ一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できる職場環境づくりは決して簡単ではありません。次の4つのステップを参考に、イクボスを目指して取り組みを進めていきましょう。



STEP1 企業ビジョンを描き伝えることからスタート

まずは経営者が目指す姿を描き、コミットすることで、会社としての強い意志を示すことが重要です。今ある課題を時間をかけて、一つひとつ解決していきましょう。



変わってきた!

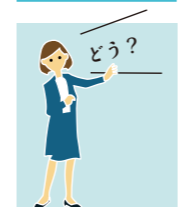
STEP 2

なるほど

STEP 1

STEP2 推進体制の整備

中小企業や中堅企業なら人事部署を中心として進め、大企業ならプロジェクトを設置するなど、会社の規模に応じて推進体制を整えましょう。



STEP 3

やってみよう

STEP 4

STEP3 できることから始めよう

現状把握と課題の抽出を行い、組織に合った施策を実施します。例を挙げると、「会議のムダとり」「書類の整頓」「標準化・マニュアル化」「担当以外の業務把握」「スケジュールの共有」など。

やり続ける事が何より大事!

